



かわべ

米田富士 散策 MAP



明治安田

このパンフレットは
「明治安田生命保険相互会社」の
ご寄付により作成しました。

米田城址からの眺望



米田富士までのアクセス

- 名神高速道路を利用の場合(約50分)
小牧IC → 国道41号 → 川辺町
- 東海環状自動車道を利用の場合(約10分)
美濃加茂IC → 国道41号 → 川辺町

自動車



▲川辺町役場駐車場



鉄道

- JR名古屋駅 → JR岐阜駅 → JR中川駅 → 米田富士
- JR名古屋駅 → JR多治見駅 → JR美濃太田駅 → JR中川駅 → 米田富士
- 名鉄名古屋駅 → 名鉄新穂沼駅 → JR穂沼駅 → JR中川駅 → 米田富士

お問い合わせ先

川辺町役場 企画課 ☎0574-53-7213

〒509-0393 岐阜県加茂郡川辺町中川辺1518番地4



HP



Instagram



Facebook



X



米田城は、標高二六八メートルの山頂に物見矢倉程度の城があった。「米田庄 肥田軍配」によると、初代城主の肥田兵衛少輔軌吉(忠政)が権現山に築いたとされ、その子、玄蕃允軌休(忠政)が永禄三年(一五六〇)に加茂山に移築したとされる。肥田氏はこの城を拠点として、米田庄一帯を支配していた。

また、肥田氏が米田庄を支配する以前には、川辺町福島の地名の起源となった福島一族が居住していた。一族は美濃源氏の出身で、左近将監政清が領主。その子、政家が大水年間(尾張)に移住し、その孫にあたる市松が秀吉に仕えた福島政則であるとの記録も残っている。

室町時代の末期には、美濃守護土岐政房が、この城に逃れて移住したとの記録があり、また、同じ室町時代、飛騨の三木氏が米田城を攻略したことが伝えられている。

天正十年(一五八二)、金山城主(可見市兼山町)森長可の軍によって攻囲され、米田城は落城し、以後廃城となった。山頂には、当時の礎石や堀の跡などが残っている。



お食事処等の情報はこちらのQRより、ホームページをご覧ください。



米田富士登山ルートの見どころ

よねだふじ 米田富士・米田城址

川辺町のシンボルの山で、標高は268m。昔は山頂に米田城がありました。今も空堀などを見ることができます。



かもじんじゅ 加茂神社

勧請年月は不詳ですが、当社は山城国(京都府)加茂神社を形取り祭神をつまふ。そのためこの山を加茂山といい、以来米田町の中心地となっています。

うまだめし 馬留石

層崖(現在の加茂神社)に向かう際、この石の前で馬を留めていた由緒ある石です。

